



Power Amplifier ソウリユーション 710 ¥5,200,000

●出力:120W+120W(8Ω)、240W+240W(4Ω)、
480W+480W(2Ω) ●入力インピーダンス:10kΩ
(アンバランス)、4.7kΩ(バランス) ●寸法/重量:
W480×H280×D535mm/80kg ●バランス入力
HOT=2番ピン ●問合せ先:弊ノア ☎03(5272)4211

突如現われたスイスのニューカマー 力強く極めてフレツシユ、そしてしなやか

三浦 ソウリユーションは、数年前から海外のオーディオショウで見かけていたブランドですが、この秋突然といった感じで日本に上陸し、その音をじっくり聴いて大変驚きましたね。

柳沢 まったくそう。ぼくもとてもびっくりした。で、これはひとつ前のアキユフェーズのアンプとは対照的に、物凄く高価な製品。菅野 でも、とくにグランプリでは、価格にとらわれずに優れたものを選ぶわけですし、高くても安くても、いいものはいいと言わなければならぬ。プライスレスな考え方が必要なんです。

柳沢 もちろんそうですよ。

菅野 たしかに、多くの人が手の届く価格に優れたものがないとオーディオ界全体にとっても困りますけれど。

三浦 このソウリユーションはスイスのブランドですが、同じ国の、そしてやはり同じく高価なFMアコースティックスやゴールドムンドのアンプともまったく違う魅力を持った音を聴かせてくれました。

菅野 非常にフレツシユですよ。

三浦 思わずハツとしてしまう音。

菅野 物凄いインパクトがあった。

それから、かなりの重量級であることもヨーロッパ製品としては珍しいんじゃないかな。

三浦 大型であっても、筐体内部に空間を充分とった設計が比較的多かったですね。それらに比べてソウリユーションは中がぎつしり詰まっています。

上杉 回路の詳しいことはまだわかりませんが、ソウリユーション710の出力は、これだけの大型にもかかわらず、8オームでたった120ワットしかないのですけれど、非常に大型の電源トランスを搭載していたり、平滑コンデンサーも大容量であったりと、極めてオーソドックスな物量投入型の設計がされているようです。

柳沢 物量投入型というアメリカのアンプに多いのですが、それらともまた、まったく違う音なんですよ。

上杉 大型アンプに時として見られる大味なところがまったくなく、非常に繊細な音です

よね。

傳 繊細、緻密。全帯域でスピードが揃った見事な音。

菅野 精緻精巧です。そしてしなやかだしね。傳 音楽の背景が本当に静かです。この静寂感はなかなか体験できません。

上杉 なおかつ、物凄く力強いですから、表示パワーからは考えられないほどドライブ力があります。

柳沢 それから仕上げも凄いですよ。あの広い平らな面を美しい梨子地しているなんて、相当なものですよ。

三浦 ペアとなるプリも素晴らしいですね。

柳沢 組み合わせるとドキッとするくらい雰囲気盛り上がりです。音だけで言ったら、このペアはゴールドンサウンド賞ものですよ。

スイス、ソウリユーションの最高級ステレオパワー。

プ 1956年設立の電機メーカー、ジュベモット社が2000年に創設したブランドである。美しく仕上げられたアルミ製筐体全体で放熱を行なう設計で、6ミリ厚銅板を介してシャーシに結合される出力段は7パラレルプッシュプル構成。出力は8オームで120ワットだが、発表されているデータを見ると2オームまでほぼ完璧にパワーが保たれている。入力段と電圧増幅段間に独自のリニア補正回路を挿入し、通常のNFBを用いずに歪みを低減、優れたリアリティを実現しているという。電源部は1000VAトランス2基と総計25万マイクロファラッドのフィルターコンデンサーを投入した強力なもの。試聴記は今号掲載。